

令和4年10月

のぞみカフェだより

子育て支援センターエンゼル 0176-25-5808

9月ののぞみカフェは、来年就学を迎えるお子さんをお育てのお母様2名にご参加いただきました。就学についての心配について情報共有しながら、先輩お母さんの「工夫」などを聞いてみました。

★心配その①「朝の準備」や「次の日の準備」ができるのか…。

お母さん方から、「ただでさえ自分のものの始末や着替えなどが苦手なので、毎日どんなふうに乗れ越えようか」というお話ができました。心配ですね。

こういった毎日の身支度などのルーティンによく使うツールは「To Do リスト」や「行程表」です。行程を細かく表さない「To Do リスト」は、たとえば「着替え」とあれば理解してスムーズにできるようであれば、朝晩の準備の助けになりますよ。「済んだ」もの「済んでないもの」が分かりやすくなるからです。

順番を示してあげる方がスムーズなタイプには「行程表」良い助けになるでしょう。「①パジャマのズボン脱ぐ」「②パジャマの上着脱ぐ」「③Tシャツを着る」「④ズボンをはく」「⑤靴下の右側をはく」…と言うように、その子の困難さに合わせてヒントの出し方をチョイスすると良いと思います。というように話が拡がりました。

そのうちに、ルーティンが定まってきて、とくに助けが入らなくても、準備ができるようになることも多いです。そして、「親に確認してもらう」という、「誰かの助けを借りる」ことを上手にできるというかもしれません。

★心配その② 歩いて登校できるかなあ…。

徒歩で学校に通うのが一般的ですが、学校までの道のりには、様々な誘惑があったりします。交通ルールを守って、時間に間に合うように学校に行くのは、結構難しいことかもしれませんね。練習は必要かもしれません。雪が降る前に何度か学校までの道のりを歩くといいと思います。学校までの道のりを歩いてみる時に親御さんは、通学路のどこに「危険」や「誘惑」があるかをチェックできると思います。そうすると、事前にどんなふうにするか安全かということや、やってはいけない事などを伝えられると思います。

また、入学してからある程度の期間、一緒に登校する必要があります。入学前に、ご家族全体の朝の流れを予測して、作戦を立てたり、調整していくといいですよ。

★心配その③ なじめるか？

どんなお子さんでも、入学するのは楽しみだけではなく、もちろん緊張もします。環境の変化から、登校を渋ってしまうケースも多いでしょう。緊張があると、感覚が過敏になったり、特性が際立ったりすることもあるようです。先輩お母さんからは、学校の給食は、いつも食べられるものも食べられないものもあったなどというお話もありました。

そんなときは、親が担任の先生にお子さんのことを伝える「通訳者」になるといいでしょう。これは、一昨年前ののぞみカフェ内で、集まって頂いたお母さん方にワーク研修した内容です。「子どもの得意なこと、苦手なこと、苦手だけれどこんなふうにはすればできます。」というようなことを担任の先生に伝えるということです。

1番の理解者が子どものことを伝えることは、理解の輪を拡げます。受け持ってくれている担任の先生に上手に伝えることが大切です。

のぞみカフェは…お子さんの発達を心配している親御さんの会です。集まった皆さんで、おしゃべりやお勉強をしながら、ホッと一息つきましょ。今回は、10月15日（土）です。ぜひ、ご参加ください。



←子育て支援センターエンゼル HP

